

# 御木本幸吉出前 トーク事業

## 自治体情報

人 □ 22,646 人

標準財政規模 5,748,394 千円

担当課 三重県 鳥羽市 教育委員会生涯学習課

電話 0599-25-1268

ホームページ <http://www.city.toba.mie.jp/>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類

## 施策の概要

### 1 取り組みに至る背景

本市は真珠の養殖に成功し、「ミキモトパール」の名を世界に知らしめることになった「世界の真珠王」御木本幸吉を輩出している。その功績はもちろん、成功までのたゆまぬ努力、地域振興に積極的に関わる姿勢には学ぶところが多い。平成 14 年度より、幸吉翁が残した語録をテーマに郷土の未来を考える人材育成講座「地球塾」を開講しているが、平成 20 年は御木本幸吉翁生誕 150 年にあたることから、未来を担う小学生を対象とした出前トークを新たに実施することにした。



### 2 事業内容（目的・目標・方策）

ミキモト真珠島「真珠博物館」の松月館長を講師に迎え、市内小学生が郷土の偉人である幸吉翁の生い立ちや功績について学ぶ機会を設定した。教材として、幸吉翁の功績を図示した「幸吉マップ」を新たに作成した。

< 目的・目標 > 未来を担う小学生の人材育成を目的とする

< 方策 > 幸吉のアニメーション映像の視聴

幸吉についての講話

（ミキモト真珠島を会場とした場合、御木本幸吉記念館、真珠博物館の見学）



### 3 施策の開始前に想定した事業効果

幸吉翁の語録の 1 つに「小学生の手本になりたい」という言葉がある。幸吉翁は、疲弊した農村を立て直した二宮尊徳に感銘を受け、自らも地域の発展に大いに貢献した。その姿勢は純粋な目とあふれる若さを持つ小学生を未来の地域リーダーに育て上げるための、まさに「手本」となり、先人の生き方に若き世代が学ぶ理想的なモデルケースとなるものと期待している。また、幸吉翁の生き様を学ぶことが、偉人を輩出した土壌である「鳥羽」に対する誇りを生み出し、郷土愛の醸成につながると考えている。

#### 4 導入にあたり工夫・苦勞した点、課題、対処法など

人材育成講座「地球塾」の開講時に、塾生有志により小学生向けの紙芝居を作成したことがあった。しかしながら、それ以外には市が提示できる小学生向けの教材がなく、なかなか幸吉翁の功績を紹介する機会がなかった。そこで、今回、生誕 150 年の記念事業の一環で、「幸吉マップ」を作成することとしたが、小学生にも理解しやすい図示を心がけた。



#### 5 現在の成果・実績、今後の展開など

<平成 20 年実績> 6 小学校において実施。

受講総数 153 人

先の見通しが難しい時代にあって、それでも「道を切り開き、夢をつかむ」ことを本市の未来を築く世代に伝えられた意義は大きいものと考えている。本事業は、幸吉翁生誕 150 年の記念事業の一環として立ち上げたものであるが、人材育成は一朝一夕では成しえないものであり、今後も事業を継続する予定であり、「幸吉マップ」を活用しつつ、偉人の功績を伝えるとともに、本市固有の歴史・文化の継承に努めてまいりたい。



### 予算関連データ 鳥羽市

平成 20 年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
300 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	300 千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					